

公表

令和7年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援室 k o d o m o 鶴見西口教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 1月 末日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 1月 末日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者及びお子様が安心できる場所であること	保護者が相談しやすいようにフィードバックカードを用いてその都度対面でタイムリーに話ができるような工夫をしています。面談で学校の様子を聞いた際必要があれば学校訪問を行い、「学校・家庭・事業所」が共通意識をもって関われるようにしている。お子様が安心して話ができるように温かな気持ちで寄り添うようにしている。	引き続き保護者のニーズにこたえていけるよう関係機関との連携をはかっています。保護者の不安や悩みに迅速に対応し安心していただけるように努め、職員間でも共有することでどの職員でも安心して気軽に相談ができるような雰囲気づくりを心掛けていきます。
2	専門職による支援	専門職による直接支援が提供できるようになった。発達検査後の家族に対する支援の具体案などの提供を行い、職員と家族での共通理解が得られるようになっている。事業所全体の講演会の開催も行い発達障害に対する理解を深められる機会を設けられた。	専門職の立場からの見解とそのほかの職員との見解を総合してより良い支援につながるように情報共有を密に行っている。
3	子どもの発達状況に応じた細かい個別支援及び集団での支援	異年齢、発達のレベルの違う子供たちが運動遊びや創作活動を通してルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいる。また、集団の場が苦手なお子様に対しても強制することなく、自然に輪の中に入れるようなプログラム作りを意識している。	子ども自身の自主性、主体性が導き出せるよう側面からの支援を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの勉強会や保護者会の開催を定期的に行う。	多くの保護者を対象とした勉強会や不定期開催となっている。	年間計画に組み入れ、保護者同士のつながりを持てる場所と時間の提供をしていく。
2			
3			